

ART bee HIVE

アート ビー ハイヴ

(公財)大田区文化振興協会が2019年秋に創刊した、地域の文化・芸術情報を盛り込んだ季刊情報紙。「BEE HIVE」とは、ハチの巣の意味。公募で集まった区民記者「みつばち隊」と一緒に、アートな情報を集めて皆さまへお届けします!

第25号

発行日
2026年1月5日

毎1・4・7・10月初旬
11万部発行
※次号は4月1日発行予定

迎春



公式PRキャラクターズビー

紙面で紹介しきれなかった
情報をWEB版「+bee」で
掲載しています。



時代に合わせ様々な表情を見せてきた

六

郷

①六郷とんぼ凧 ②どんど焼き ③子ども獅子舞 ④子ども流鏑馬 ⑤明日への扉ギャラリー ⑥六郷BASE (大田区南六郷創業支援施設) ⑦東京ガラス工芸研究所 ⑧アーティスト・荻野夕奈さんのSTUDIO ZUGA
提供: ②③④大田区 ⑤アットホーム株式会社

伝統とテクノロジーが出会う街。

江戸時代、六郷は東海道五十三次・川崎宿の入口となる交通の要所でした。「六郷の渡し」は葛飾北斎や歌川広重など、多くの浮世絵師によって描かれており、大田区内有数の伝統文化にあふれる地域の一つです。

「六郷とんぼ凧」は、江戸末期、多摩川の河原に干した魚を狙うカラスなどを追い払うために、カカシ代わりに上げられていた凧。機能性はもちろん、そのデザイン性が認められ、明治時代には日本全国をはじめ海外にまでも輸出されました。六郷緑地で行われる「どんど焼き」は古くから宮中で行われてきた行事で、小正月(15日)に門松やしめ縄などを焼きます。その火で焼いた餅などを食べると病魔除けになると言われています。

六郷神社の「子ども獅子舞」は男子が雄獅子、雌獅子、中獅子の頭をつけて、前に抱えた太鼓を叩きながら踊る三匹獅子舞。その周りで花笠をつけた女子が「ささら*」で伴奏します。「子ども流鏑馬」は、武者姿に刀を差した*竹でできた鳴り物

男子が矢を射って悪を祓う神事です。

日本の伝統文化を未来に繋ぐ施設、それが「明日への扉ギャラリー」です。オリジナルドキュメンタリー番組に登場した若き伝統工芸作家の優れた作品を数多く展示しています。

六郷は昭和3年に内務省の「工場地域」に指定され、数多くの工場が稼働する「町工場の町」として栄えました。現在では住宅エリアとして注目されていますが、今も残る工場は高い技術力で世界的に評価を受けています。

そんな地域の特徴であるものづくり技術を活用し、社会課題解決に向けた新たな事業の創出を支援する創業支援施設が「六郷BASE」。一般の方も3Dプリンタなどのデジタル機器を利用できます。「東京ガラス工芸研究所」は、ブローのガラス工芸家やガラス職人を養成する教育機関。気軽にオリジナルのガラス作品が作れる体験教室も用意されています。さらに、近年は様々なジャンルのアーティストがアトリエを構え、街に新たな彩りを添えています。

子ども獅子舞 6月上旬の土・日曜日
子ども流鏑馬 1月7日
⑥六郷神社 (大田区東六郷3-10-18)
☎03-3731-2889 (六郷神社)
🌐n.kugo.or.jp/

明日への扉ギャラリー byアットホーム
⑥大田区西六郷4-34-12
*見学は原則予約制 入館・見学無料
☎03-3730-6712
🌐athome-tobira.jp/

六郷BASE (大田区南六郷創業支援施設)
⑥大田区南六郷3-10-16
☎03-6715-9751
🌐rokugobase.com/

東京ガラス工芸研究所
⑥大田区東六郷1-26-13
☎03-6715-8670
🌐tokyo-glass.jp/

荻野夕奈 STUDIO ZUGA
⑥大田区南六郷2-3-13
🌐studio-zuga.com

4面に「六郷アートMAP」を掲載しています。

荻野 夕奈

おぎの
ゆうな

アーティスト



アトリエである STUDIO ZUGA で新作に取り組む荻野夕奈

©KAZNIKI



4才児から大人、障がいのある方々が同じ場所で制作する
WORKSHOP NOCONOCO

荻野夕奈 Ogino Yuna

1982年東京都生まれ、2007年東京藝術大学大学院美術研究科を修了後、アーティスト活動を開始。国内外での個展・グループ展多数。2023年に自身2冊目の出版となる作品集「Traces of Life」(求龍堂)を刊行。

🏠 yuna-ogino.com/ 📷 yuna_ogino_

個展「Interweaving Presence」

開催中～1月12日(月・祝) 🕒 11:00-20:00 ※最終日は18:00閉場

📍 京都 葛屋書店5F エキシビションスペース
(京都市下京区 京都高島屋S.C.内)



大田区雑色にアトリエを構えるアーティスト・荻野夕奈さん。花や人物を主なモチーフ

として、具象から抽象 『p-030425_1』(2025)

へと画面を再構築する独自の半抽象画を描いています。

「私は、生きているものを描きたいんです。花も人も、そこに宿っている“命”という点では同じで、そのエネルギーや生命力をどうやって画面に留められるかを考えています。できるだけ、一面的な見方に収束されない絵にしたい。名前や人種、性別といったラベルで限定されない絵にしたいんです。」

抽象だからこそ描けるものがあるそうです。「写実で描こうとすると、どうしても髪の毛の一本一本とか、表層の細部に時間を費やす必要が出てきますよね。でも、私が本当に向き合いたいのは、もっと内側の方なんです。だから抽象に向かう。抽象は、表面をなぞるのではなく、その人や花が持っている“存在の芯”にまで踏み込める気がしています。」

荻野さんは一度描いた画面の上に書き重ねたり、削ったり、拭き取るなどを繰り返し、重層的な絵画を作り上げます。「キャンバスには時間が埋め込まれています。絵には制作の軌跡があって、それをきちんと最初から最後まで画面に表したい。最初に何を塗って、最後に何を塗ったのか。画面から私の生きてきた時間が見えてきます。」

荻野さんは創作活動以外にも、「WORKSHOP NOCO NOCO (ワークショップノコノコ)」という絵画教室を主宰しています。「WORKSHOP NOCONOCOでは、こどもたち、お仕事をされている方々、障がいのある方々が、同じ空間で制作を行なっています。いろいろな人たちが様々な表現をしている環境だからこそ、自由で個性的な作品が生まれます。その経験から、近年では大田区の福祉作業所と共創して、作業所の自主製品をデザインするプロジェクト『+ART(プラスアート)*』の活動も行なっています。昨年は、大田区南六郷に新たに築いたアトリエ STUDIO ZUGA に、鷹取まゆ講師による『KAMATA ART SEMINAR』を立ち上げました。本格的なデッサン・絵画が基礎から学べて美大受験対策にも対応した絵画教室です。より多くの方々にアートに親しんでいただけたらと願っています。」

* (公財)大田区文化振興協会による取り組み。福祉施設などで生産する「自主生産品」の魅力をより高めるため、施設とアーティストをつなぐプロジェクト。

商店街 × アート vol.23

大田区内の商店街にあるアトリエやイベントを紹介します。



まるで不思議な世界に迷い込んだようなエントランス

「危機裸商店」

📍 大田区南六郷 1-17-1 1F 倉庫 101
🚶 京浜急行線「雑色駅」徒歩15分/JR京浜東北線「蒲田駅」より
京急バス「羽田空港」行き「七辻バス亭」下車 徒歩4分
🕒 昼頃 -19:00 (要予約) 🔥 火曜
☎ 03-4362-5510 🏠 kikirashoten.com

世界に発信します。
Made in OTAの新しいゴス・アートを



Made in OTAの
“ゴシックリップ”

大田南六郷一郵便局の真向かいにあるのが2018年オープンの「危機裸商店」。日本を代表するゴス(ゴシック)*アート衣装のショップです。「ゴスとの出会いは小学生の時に見たティム・バートン監督の映画『バットマン』や『シザーハンズ』です。ダークサイドに惹かれました」と語るオーナーでデザイナーの後藤ききさん。「ゴスラブイベントに通い始めた時クラブに着ていく衣装を自分で作り出したのが始まりです。」

2001年、表参道に「危機裸商店」をオープン。その後、関連ショップを5店舗展開。「忙しすぎてクリエイティブに時間が割けなくなりました。自分の作りたいものを作るために全店整理し、集大成としてここをオープンしました」。危機裸商店のアイテムは全て一点もの。まさに身に着けるアー

「危機裸商店」(南六郷)

ト。2024年にはアメリカでコレクション・ショーを行いました。

オーナーでデザイナーのききさんは「大田区工場×ゴシックデザイン」という活動を行なっています。「最初はバッグ、次に棺の形をしたクリップ“ゴシックリップ”を作りました。続いて洋服箱を制作。“スツールやテーブルとしても使え、寝心地もとてもいいです(笑)」。現在では人形用も展開しています。「2025年12月、イタリアのドール・イベント“人形たちの宮殿”に参加します。Made in OTAの新しいゴス・アートを世界に発信します。」

📅 7・doll VOL.76 日本最大の人形イベントに参加!
3月21日(土) 🕒 11:30-16:30 東京ビッグサイト 西展示棟

*1970年代後半にパンクから派生し、音楽や映画、小説、ファッションなどを指すサブカルチャー。

東京ガラス工芸研究所

大本研一郎さん 東京ガラス工芸研究所理事・ガラス作家(切子)

東京ガラス工芸研究所は日本トップクラスの設備や第一線で活躍する講師陣を抱え、ガラス工芸のあらゆる技法を学べるガラス専門教育機関です。1981年の設立以来1,000人以上の卒業生を送り出し、多くの人材を輩出しています。理事でご自身もガラス作家である大本研一郎さんにお話を伺いました。

「何より学べる技法の多さです。各分野の専門講師陣と充実した設備のもと、伝統的な技法から新しい技術まで学べます。ガラス工芸における幅広いスキルを習得することが出来ます。」と語る大本さん。「色々な技法を学ぶと作品の幅が広がる。大きなアドバンテージになります。就職についても同様です。近年は企業側も色々な展開をしていますから、様々な技法を知っているガラスに対する知識が深い人材が求められています。」

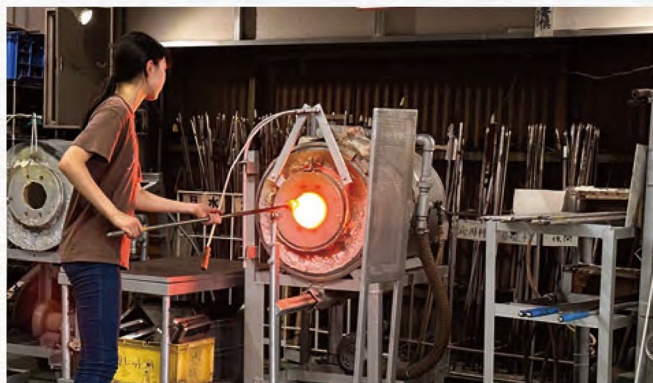
実は大本さんも東京ガラス工芸研究所の卒業生です。「聞いたら、何でも教えてくれる。先生方は皆さん独立した作家ですが何も隠さない。『多分これは秘密だろうな』と思うこともちゃんと教えてくれました。短期間で教えてもらえ、それを実践する機会もたくさんあります。」

学生を指導するにあたって大切にしている点をお聞きすると、「何かものを作ることは自分自身の分身を作ることです。しっかりと時間と手間をかけて作れば、必ず物に表れる。よく切子細工(きしこ)に喩えて言うのですが、卒業した時は最初にざっと削った感じです。そこからだんだん細かく削っていき、最後に研磨してピカピカにして出来上がり。ここを卒業してもまだ荒削りの段階です。常に学ぶ気持ちを忘れないでいて欲しいです。」

最後に区民の皆さんにメッセージをいただきました。「私が願っているのはガラス工芸の普及です。気軽にガラス作りを楽しめる『体験教室』も用意していますが、まずは多くの人に見ていただきたい。散歩がてら、ぜひ一度お越しください。」



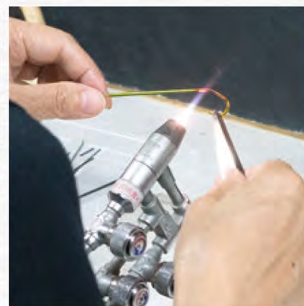
竹細工を切子で表現した大本さんの作品。青被切子鉢(左)と緑被硝子切子皿(右)



充実した環境のもと、ガラス作家としての基礎技能・基礎知識の習得を目指す



息を吹き込み成形する「吹きガラス」



耐熱ガラスの扱いを学ぶ「酸素バーナー」



ガラス表面をカットする「カット・花切子」切子を指導する大本さん



と館長の指導(右)

東京ガラス工芸研究所

📍 大田区東六郷1-26-13

🚶 京浜急行線「雑色駅」徒歩5分

☎ 03-6715-8670 🏠 tokyo-glass.jp/

📧 tokyo_glass_art_institute

大本研一郎 Omoto Kenichiro

1967年、兵庫県生まれ。東京ガラス工芸研究所理事、ガラス作家。伝統的な江戸切子の技術に新しい技術も取り入れながら独自の作品を制作している。公益社団法人日本工芸会 正会員。

六郷神社の狛犬 (区指定有形文化財【金石文】)

📍 六郷神社(大田区東六郷3-10-18)

2026年最初のご紹介は、六郷神社に所在する大田区内最古の狛犬です。

台座の銘文から、貞享2年(1685)、六郷中町の人々により建立されたことがわかります。東京都内でこの年代のものが災害や戦禍を乗り越え、阿吽共に現存していることは大変貴重です。江戸中期には古い形態を残す、現世と来世の「二世安楽」を願いとするところも注目すべき点です。

何より面白いのは、このユーモラスな表情と丸みのあるどっしりした体です。元祖「ぶさかわ」とも言える造形に、思わず頬が緩みます。この狛犬は江戸時代に現れた「はじめ型」というタイプで、たてがみや尾は体に張り付くかのように浅い線で彫り、脚の間の石をくり抜かない

などの特徴があります。庶民層に狛犬が広がったばかりの時代のもので、個性が強く出ています。

現在は境内の庭に置かれていますが、頭部に元の配置を考えるヒントがあります。平安時代、狛犬は「(向かって)右に獅子・左に狛犬」の組み合わせとされました。同時に狛犬は中国の靈獣と結び付き、角を持ちます。六郷神社の狛犬は一方は口を開け(阿形)、もう一方は角を持ち口を閉じます(吽形)。このことから、阿形は獅子として右に、吽形は狛犬として左に置かれていた可能性が指摘できます。

年の初めに、是非六郷神社の狛犬に会いに行ってみてください。

文：稲葉実夢(大田区教育委員会 文化財担当)

🏠 大田区教育委員会 文化財担当 ☎ 03-3777-1281

【参考文献】山本照代「区内のいわゆる獅子・狛犬について」『史誌』第31号、大田区、1989年7月15日。 勝 勝俊「江戸狛犬図鑑」さくら舎、2022年9月11日。



吽形

阿形

六郷アートMAP

- 1 子ども獅子舞 6月上旬の土・日曜・子ども流鏑馬 1月7日
●六郷神社(東六郷3-10-18) ●京浜急行線「六郷土手駅」徒歩5分
- 2 明日への扉ギャラリー byアットホーム
●大田区西六郷4-34-12 ●京浜急行線「六郷土手駅」徒歩7分
●平日:10:00-17:00(最終入館16:30) 土・日・祝日:10:00-18:00(最終入館17:30)
*見学は原則予約制 入館・見学無料 *夏期・年末年始に休館日あり
- 3 六郷BASE(大田区南六郷創業支援施設)
●大田区南六郷3-10-16 ●京浜急行線「六郷土手駅」、「雑色駅」徒歩13分
●10:00-18:00(最終受付 17:00) ●年末年始(12/29~1/3)
※入居者は24時間365日利用可
- 4 東京ガラス工芸研究所
●大田区東六郷1-26-13 ●京浜急行線「雑色駅」徒歩5分
- 5 荻野タナ STUDIO ZUGA
●大田区南六郷2-3-13 ●京浜急行線「雑色駅」徒歩10分
- 6 危機機標商店
●大田区南六郷1-17-1 1F倉庫 101
●京浜急行線「雑色駅」徒歩15分
JR京浜東北線「蒲田駅」より京急バス「羽田空港」行き「七辻バス亭」下車 徒歩4分



注目EVENT

馬込アートギャラリーオープン

2月1日(日) ●9:00-16:30(入館は16:00まで)



(完成予定図)

2月1日、「馬込アートギャラリー」が開館します! 大田区が所蔵する絵画などを収蔵・展示する施設です。書家 熊谷恒子の常設展示コーナーなど、地域ゆかりの作品をぜひご覧ください。

●馬込アートギャラリー(大田区南馬込4-10-4)

●JR「大森駅西口 東急バス」在原神社入口行き「万福寺前」下車 徒歩5分
都営浅草線「西馬込駅」南口 馬込並木通りに沿って 徒歩10分

●無料 ●月曜(祝日の場合は翌日) 年末年始(12/29~1/3)
●03-6410-7960

リズビー Report

リズビーが前号で紹介した人物・場所・イベントなどを訪れます。



コラボカフェ『いちよんごのおばけ展』

9月5日(金)~23日(火・祝) ●ムッチーズカフェ ●mucchis_cafe
絵本作家・いちよんごさんが描く妖怪の原画やグッズで埋め尽くされたムッチーズカフェ。ほっこりした可愛さに妖怪デビューしたくなったリズビーは、コラボのコーヒーを飲み干し、妖怪たちへの取材のため店内を飛び回りました。

リズビー公式 X ARTbeeHIVE

~ リズビーからのお知らせ ~ あつまれ! みつばち隊!!

当情報紙「ART bee HIVE」は、地域の文化・芸術情報を盛り込んだ季刊情報紙として区民記者(みつばち隊)の皆さんとつくっています。このたび、令和8年度の区民記者を募集します! 区内の文化芸術に関する情報収集のほか、月数回程度の編集会議や取材同行、原稿作成など、プロの編集者にノウハウを学びながら取組んでいただきます。

■対象

- ・文章を書くことや、写真撮影が得意な方
- ・アート・芸術に興味がある方
- ・人とのコミュニケーションが好きな方
- ・地域に根ざした文化的な活動を行いたい方

■参加条件

- ・18歳以上の方(高校生不可)
- ・月数回程度、大田区内での取材や打合せ活動が可能なお方(土日含む)
- ・メールや、オンライン会議などネットを活用したやり取りが可能なお方
- ※新聞社、出版社等で取材・編集経験のない方を優先します

■受付期間

2月2日(月)10:00~3月2日(月)必着

■定員

若干名

■申込方法

協会ホームページ内「募集情報」から

詳しくはこちらから▶



リズビーがInstagramをはじめました!

これから「ART bee HIVE」の裏話や、区内の文化・アート・芸術情報を配信していきますのでぜひフォローをよろしくお願いいたします!
@abh_rhythbee

●(公財)大田区文化振興協会 広報・広聴担当 ●03-3750-1614 (月~金 9:00~17:00)

● = 場所 / ● = アクセス / ● = 開催時間・営業時間 / ● = 休館日・定休日 / ● = 料金 / ● = 主催 / ● = 共催 / ● = 後援 / ● = お問合せ / ● = 電話番号 / ● = メール / ● = ホームページ

発見! 街角アート みつばち隊の皆さんが、大田区内の街角で見つけたアートなモノ・パシヨ・コトを紹介するコーナーです。



邪気を払って幸運を! 新田神社
みつばち隊: 本門寺の青空さん

見つけました! 大きな破魔矢を新田神社に。特大の大きさに目を疑います。破魔矢は「魔を破り幸福を射止める」という縁起物として江戸時代に平賀源内が発案したそうで、新田神社が発祥の地だと知りました。「土用の丑の鰻」だけでなく破魔矢も彼の発案で、その異才ぶりには驚かされます。奈良の大仏のように想像を超える大きなものには、人を圧倒する力と美しさが宿ります。この破魔矢にも、その力が漲っているように感じました。



山王木原山児童公園
こどもに愛されるトラの遊具
みつばち隊: 山王の坂好きさん

小さな公園のすみっくこに、静かに「居る」のがこのトラの遊具です。遊具といっても、パネがついていたり、動いたりするわけではありません。ただ愛くるしい姿で「居る」だけです。しかし、息子はこのトラが大好きで、未就学児のころには公園に行くたびに嬉しそうに撫でていました。息子に慈しみの心を教えてくれて、親子の思い出をくれたトラ。機能ではなく造形によって、こどもに愛される。そこにアートの意義を感じます。



編集後記



みつばち隊: 馬込RINさん

六郷神社などを巡り、六郷土手へ。前方には青い空と多摩川の河口へと広がる開放的な風景。さらに歩を進めると「六郷の水門」が姿を現し、裏手の舟だまりから雑色運河と呼ばれた頃の雰囲気を感じます。桜並木が彩る春に是非。



みつばち隊: 山王すばこさん

六郷神社に注目している存在がいます。1685年に奉納された大田区内で最も古い狛犬です。顔つきがユーモラスで、楽しい気持ちになります。この顔のデザインについて同時代の狛犬のデザインなども調べてみたい、と思いました。



みつばち隊: 洗足のMissyさん

西六郷公園のタイヤ怪獣がずっと気になっていました。怪獣のタイヤは自動車修理工場や運送事業者から寄付された物だそうです。タイヤが第一の人生を終え、第二の人生として、こどもたちを楽しませていることに浪漫を感じます。



みつばち隊: 羽根付きギョウザさん

小学生の頃、「ばらけの町は川つぶち」を唄うと元気がわいてきました。あれから30年、自転車で歌詞の舞台の六郷土手を走ると、唄っていた時の気持ちが甦ります。歌詞に出てきた景色は変わっても、明るく元気な六郷の町です。



みつばち隊: 池上のワンコさん

六郷と聞いてまず思い浮かぶのは、土手でスポーツを楽しむ人々。地名からはアートを連想しませんでした。ゴシックファッションの店やガラス工芸の学校など、個性豊かな場所がたくさんありました。大田区の奥深さを感じます。



みつばち隊: 雪谷のさくらさん

タイヤ公園とも呼ばれる西六郷公園は、私が幼い頃よく遊びに来ていたお気に入りのスポットです。四季の花々が咲き、電車が走る様子も見ることができ、こどもたちの楽しそうな声が聞こえるとても素敵な場所です。



みつばち隊: 黒湯あつしさん

高校生活に悩んでいた17歳の頃、下校中に寄り道して、多摩川の丸子橋から六郷橋まで歩いたことがあります。自然が築いた川の曲線を眺めていると、憂鬱な気分は徐々に晴れていきました。あの光景は今でも鮮明に覚えています。



編集長: MOJOさん

今回の取材で何回も利用した屋根付きアーケード型の長い商店街。どこか懐かしく、それでいて現役だからこそ賑わいに溢れています。六郷は江戸の伝統と現在が共存する街。まるで二つの世界を繋ぐタイムトンネルのようです。

発行: 公益財団法人 大田区文化振興協会

〒146-0092 東京都大田区下丸子3-1-3 大田区民プラザ

☎03-3750-1614(月~金 9:00~17:00) ●art-bee-hive@ota-bunka.or.jp

●ota-bunka.or.jp/ ●ota_bunka ●otabunkaart

●大田区文化振興協会チャンネル ●大田区文化振興協会 編集・デザイン: MOJOWORK

ART bee HIVEの
詳しい情報はこちら



大田区のアートな情報募集中!

情報をお寄せくださった方には抽選で、情報紙「ART bee HIVE」の公式PRキャラクター「リズビー」& 大田区の公式PRキャラクター「ねぶのん」の限定コラボグッズをプレゼント!



VEGETABLE OIL INK
この情報誌には印刷
インキ工業連合会認
定の植物インキを主
に使用しています。